

編輯後記

⊗東洋平和の爲暴支警懲、破邪顯正の劍に蹶ち大慈悲の千才を交へてより、聖戰此處に幾月、凱歌の喊聲天地に震撼し萬歳の聲巷に滿つ時、待望の『棲神』を皆様の机上にお送り致します。

⊗鷲降の法雲、呱呱の聲を揚げてより貳拾參號、思へば欣喜の涙に咽ぶ。

⊗時變下の多忙裡にあつて棲神學徒陶冶の爲、玉稿を給はつた諸先生に滿腔の熱意を持つて謝意を表します。

⊗御寄稿を御願ひした諸先生のうち、玉稿を戴く事の出来なかつた先生の多かつたのは残念なことでした。亦學生の投稿の尠なかつたことは、學生の熱が減退したやうに思へて残念でした。乞ふ精進を。

⊗未經験の私達、人知れぬ辛苦と戦つて参りました。それだけに成就の喜びは一層です。

⊗それも皆今村先生の誤らざる羅針に依るものです。改めて深謝致します。

⊗猶、多忙中手を煩はした、太田、小山田兩兄に厚くお禮申し上げます。(穂坂、熊谷)

昭和十二年十二月十五日印刷
昭和十二年十二月十八日發行

編輯人

山梨縣南巨摩郡身延町
今村是龍

發行人

山梨縣南巨摩郡身延町
穂坂眞彌

印刷人

甲府市柳町七十四番地
青柳幸雄

印刷所

甲府市柳町七十四番地
芳文堂印刷所

山梨縣南巨摩郡身延町

發行所 祖山學院同窓會文學部